

令和 3 年度 学校運営連絡協議会報告書

1 組織

(1) 東京都立杉並総合高等学校 学校運営連絡協議会(全日制課程)

(2) 事務局の構成) 副校長、総務主任(事務局長)

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務部主幹教諭、生活指導部主幹教諭、保健部主任教諭、進路相談部主幹教諭、総務部主任教諭、年次主幹・年次主任 計 11 名

(4) 協議委員の構成

保護者代表、地域代表、教育関係者など 計 8 名

2 令和 3 年度学校運営連絡協議会の概要

(5) 学校運営連絡協議会(第 1 回～第 3 回)の開催日時、出席者、内容、その他

第 1 回 令和 3 年 6 月 2 2 日(火) コロナ禍のため中止

令和 2 年度学校経営報告。令和 3 年度学校経営計画。各分掌の教育活動基本方針。
学校経営報告、学校経営計画、活動方針について

第 2 回 令和 3 年 1 1 月 3 0 日(火) コロナ禍のため中止

教育活動報告。学校評価アンケート配布

協議委員からの教育活動に対する意見。学校経営方針検討・協議

第 3 回 令和 4 年 2 月 1 5 日(火) コロナ禍のため中止

各分掌・各年次の教育活動報告および評価。教育活動に対する質疑。
学校評価アンケート集計結果報告

3 令和 3 年度 評価委員会の開催日時

第 1 回 令和 3 年 6 月 2 2 日(火) コロナ禍のため中止

学校評価の基本方針の確認。今年度の学校評価実施に向けた検討予定

第 2 回 令和 3 年 1 1 月 3 0 日(火) コロナ禍のため中止

今年度の学校評価の観点・項目・内容の検討、実施時期の検討予定

第 3 回 令和 4 年 2 月 1 5 日(火) コロナ禍のため中止

アンケート集計結果の分析・考察・課題整理、学校評価報告書の検討予定

4 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

(1) 学校評価の観点

「学校の理解・満足度」、「学校生活の意欲」、「充実した学校生活」の観点で評価する。

(2) アンケート調査の実施時期、対象、規模

- ・ 12月 全校生徒 344人
- ・ 12月 保護者 158人
- ・ 12月 地域住民 10人
- ・ 12月 教職員 34人

(3) 主な評価項目

- ・ 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、部活動、施設設備。

(4) 評価結果の概要(学校及び校長への意見・提言内容)

・ 本年度で開校18年目を迎えた本校は総合学科として教育活動の充実が求められている一方、生活指導において、校則の見直しなどを実践するなど時代の変化に対応する力も必要とされる。アンケートについては、これまでの経年変化も踏まえつつ、課題に対する改善の着実な実行が必要と考えられる。地域に定着し、かつ中学生に選ばれる学校となるための取組の充実を図る。

(5) 評価結果の分析・考察(学校及び校長への意見・提言)

① 学校の理解・満足度

「本校に入学してよかった」と回答した生徒の割合は80.2%、保護者の割合は90.5%で、おおむね本校に入学したことに満足している。「ノーチャイム制によって時間に対する自己管理を積極的に行っている」と回答した生徒は93.3%、保護者は86.0%と積極的な姿勢をみせた。

授業や教科指導について、分かりやすく工夫され学習内容の理解につながっていると回答した生徒は79.3%、保護者は76.5%と、肯定的に評価している。

一方、学校外での学習については、60分以上学習したと回答した生徒は16.8%にとどまっている。授業以外の学習時間の確保、自発的な学習への取り組みの姿勢の確立を図ることが今後の大きな課題である。

② 生活指導

規律を守り、服装や頭髪、遅刻指導など生活指導に主体的に取り組んでいると回答した生徒は94.1%であるが、スカート丈の指導についての意見も多数みられた。校則の見直しを進めるにあたって、生徒や保護者の声をどう反映させていくか、今後の課題といえる。

③ 進路指導の充実

サクセスプランニングなどの進路学習が進路選択の参考になったと回答している生徒が83.7%、保護者が86.7%と、肯定的に評価している。

④ 避難訓練・防災訓練

避難訓練や防災教育について、役に立つと回答している生徒は85.1%、保護者は87.3%であった。

⑤いじめ防止の取組

本校のいじめ防止の取組が十分に行われていると回答した生徒は90.9%、保護者は80.3%、教職員は85.2%と肯定的な評価をしている。

⑥働き方改革の推進

本校は働き方改革が推進されているかとの問いに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した保護者は85.4%に対して、教職員は41.1%が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答している。また、ライフ・ワーク・バランスの考え方に基づく業務の効率化を積極的に図っていると回答した教職員は79.4%だった。

5 学校評価アンケートを活用した教育活動の改善事項(学校経営計画への反映)

(1)学校運営

- ・生徒の学習意欲向上に向けた一丸となった指導体制の確立
- ・地域、保護者の要望に応えられる学校運営体制の確立

(2)学習指導

- ・家庭学習等の授業時間外の「学習する習慣」の早期確立を図る方策の実施
- ・問題解決能力、表現力、プレゼンテーション能力の育成

(3)特別活動

- ・国際感覚、異文化理解の養成、海外訪問者との交流実現
- ・保護者、地域社会との連携を強化し開かれた学校づくりの更なる推進

(4)生活指導

- ・学校生活全般における「ルール」を守る態度の養成
- ・規範意識の確立
- ・部活動の充実

(5)進路指導

- ・生徒一人ひとりにあった、より高い希望進路選択とその実現
- ・適切な進路情報の提供
- ・キャリアガイダンス機能の充実
- ・講習の効果的な実施

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果 コロナ禍のため無し

7 その他

- ・Microsoft Forms によるアンケートを活用したため集計等の手間は減ったが、回収率を向上させる工夫が必要である。
- ・アンケート結果を受けて、現状の把握と学校経営の改善につなげていく。